

1. 事業の位置付け

事務事業名	消防団分団整備事業		
事業担当	消防本部 消防総務課		
予算科目	01-090103-040000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	01	①〈安全〉 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	03	3 迅速かつ的確な消防・水防と救急・救助、救援の体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・消防団員	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
地域における消防活動の要である消防団分団施設が整備され、市民の生命・財産を様々な災害から守るための消防力が充実しています。		消防団活動拠点の充実のため、老朽化の著しい消防団第9分団を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	庁内調整会議等開催回数						単位	回
	説明・算定式	庁内建設検討委員会（消防本部、消防署）等							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	3	2			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	第9分団施設整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	平成22年度を100%とした整備進捗率。 H19：（検討）10%、H20：（基本設計）20%、H21：（実施設計）20%、H22（解体・建設）50%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			10	30	50			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
消防団庁舎整備に向けた検討、平成20年度の基本設計に向けた準備ができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	消防活動の拠点の充実のため、老朽化の著しい消防団庁舎を整備する必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	老朽化した消防団庁舎を整備することにより、地震災害等の災害対応が充実する。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	老朽化した消防団庁舎を整備することにより、地震災害等による庁舎への被害を防止できる。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	消防団庁舎建設を整備するにあたり、将来性及び地域性を考慮する必要がある。	○ 高 ● 中 ○ 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> 消防団庁舎を整備するにあたり、効率性の観点から基本設計の段階で、消防団員等の意見を積極的に取り入れる必要がある。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				検討	基本設計	実施設計		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	800	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	1,712	471	0	0
事業費 (A)		0	0	0	1,712	1,271	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,196	4,196	4,196	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	4,196	5,908	5,467	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続    ○ 拡大して継続    ○ 縮小して継続    ○ 廃止    ○ 休止    ○ 終了    ○ 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 老朽化した消防分団庁舎を建替えるため、継続して事業を行う。	
平成21年度の実施方針	
消防団員への負担の軽減を考慮した庁舎の実施設計を進める。	
課長コメント	消防団は、消防署や出張所などと連携して地域に密着した消防防災活動を実施している。平常時は予防活動を、火災時は消防防災活動を行っており、団活動の拠点である分団庁舎を計画的に整備していく。